

活 動 報 告

結成50周年記念総会を開催しました

令和4年7月25日(月)、ホテルプリランテ武蔵野(さいたま市中央区)で令和4年度の総会が開催され、会員30名が出席しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりとなった今回の総会は、有功会結成50周年を記念し、埼玉県支部長の大野元裕埼玉県知事を来賓にお招きしました。

第一部では令和3年度事業報告及び決算、令和4年度事業計画及び予算、役員の選出について審議され、原案のとおり承認されました。

第二部は赤十字国際委員会駐日代表部の眞壁仁美氏による講演、「紛争地で“人間の尊厳”に寄り添う赤十字～ウクライナ人道危機での活動から」と題し、皆さまから寄せられた救援金が現地でのように活用されているか、また、今後どのような支援が必要となるのかなどわかりやすくお話いただきました。



祝辞を述べる大野支部長



ウクライナ人道危機講演会の様子

国内日帰り研修を行いました

令和4年10月20日(木)、32名の方にご参加をいただき首都圏外郭放水路(春日部市)と黒白洋蘭園(さいたま市見沼区)を巡りました。

首都圏外郭放水路は洪水を防ぐために建設された世界最大級の地下放水路で、「地下神殿」とも呼ばれる調圧水槽を見学し、治水対策への理解を深めました。また、黒白洋蘭園ではスタッフによる胡蝶蘭の説明や、現在の天皇陛下が2009年に行啓されたことなどのお話を伺いました。

久々に会員同士の懇親を深めることもでき、有意義な研修となりました。今後も魅力ある内容を企画してまいりますので、奮ってご参加ください。



首都圏外郭放水路の見学



黒白洋蘭園の見学

青少年赤十字作品コンクールに協力しました

青少年赤十字創設100周年を記念して、作文、標語、書道、ポスター、活動動画の計5部門の作品コンクールが実施されました。未来を創る子どもたちの健やかな成長を願い、有功会から入賞者(児童・生徒68名)に対して記念品を贈りました。



記念品の赤十字防災グッズセット



赤十字大会の会場で展示される優秀作品

大野支部長から感謝状をいただきました

令和4年11月18日(金)、さいたま市文化センター(さいたま市南区)で令和4年埼玉県赤十字大会が開催され、赤十字事業に功労のあった方々への表彰が行われました。

当会は長年にわたり支部事業の進展に貢献したとして、大野支部長から特別感謝状をいただきました。



大野支部長から感謝状を受ける利根会長



支部長特別感謝状

令和4年度 表彰会員

【紺綬褒章受章者】

【法人】

埼玉スバル(株) 様(さいたま市中央区)

【社長感謝状受章者】

【個人】

今田 潔 様(さいたま市見沼区)
佐藤 薫夫 様(さいたま市南区)
市ヶ谷 孝 様(戸田市)

【法人】

光和輸送(株) 様(さいたま市中央区)
伸明建設(株) 様(川口市)
(株)クマノ商会 様(朝霞市)

【厚生労働大臣感謝状受章者】

【個人】

千代 貞雄 様(上尾市)

小野寺貫一 様(さいたま市見沼区)
木村 鉄男 様(川口市)
田中憲次郎 様(ふじみ野市)

埼玉スバル(株) 様(さいたま市中央区)
トヨタカラー埼玉(株) 様(上尾市)
(株)新日警備保障 様(志木市)

井原 正 様(さいたま市中央区)
直井 哲也 様(所沢市)

※順不同

新入会員のご紹介

(令和4年3月～令和5年2月)

【個人】

安藤 昭彦 様(さいたま市見沼区)
直井 哲也 様(所沢市)
佐々木輝夫 様(春日部市)

【法人】

(株)デリモ 様(草加市)
(有)サトウ設計 様(川口市)

※順不同

おくやみ (令和4年3月～令和5年2月)

沼尻 賢一 氏(深谷市)

森田寿美子 氏(深谷市)

長谷川 廣 氏(さいたま市岩槻区)

高野 俊征 氏(深谷市)

岡田 三郎 氏(さいたま市大宮区)

千代 貞雄 氏(上尾市)

井上 正巳 氏(さいたま市西区)

安藤 森吉 氏(川口市)

浅子 武夫 氏(さいたま市見沼区)

※順不同



日本赤十字社 埼玉県有功会会報

2023年3月
第23号
50周年
記念特別号

埼玉県有功会結成50周年を迎えて



日本赤十字社
埼玉県有功会会長
利根 忠博

会員の皆さまには日頃より埼玉県有功会の運営にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昭和47年5月に結成された当会は、昨年50周年を迎えました。結成当時を振り返ってみますと、日本経済は高度成長期から安定成長期に移行していく時期であり、沖縄の本土復帰や日中国交の正常化など社会・経済が大きく動いた時代にありました。その一方で、戦後の社会情勢の大きな変化により、赤十字に対しての関心が薄れてきている状況にもあったようです。

そのような中、私の銀行員時代の大先輩でもある長島恭助氏を代表とする発起人の呼びかけに志ある多くの方々が集まり、埼玉県有功会がスタートいたしました。今では400人近くの間を擁し、関東では群馬、神奈川に次ぐ規模の組織にまで発展しています。

令和4年埼玉県赤十字大会で大野元裕支部長から有功会に対して感謝状をいただきましたが、ひとえに当会を支えてこられた皆様、そして今現在会員としてご尽力いただいている皆様のお陰であり、心から敬意と感謝を申し上げます。

埼玉県が生んだ偉人、渋沢栄一翁は多くの企業の設立や育成に携わる一方で、福祉や教育などの社会事業にも尽力し、日本赤十字社の運営に関わってこられました。「社会に正しく奉仕するならば、それは必ず自分の信用となって報われ、社会及び自己の発展と繁栄に繋がる」としています。まさに、有功会の趣旨そのものではないかと思っています。

時代は大きく変わり、国の内外を問わずいろいろと困難な状況にあります。だからこそ、赤十字には頑張っていたいただかなければなりません。

埼玉県有功会はこの50年に向けて新たな歩みが始まります。より大きく輪を広げながら多くの方々と力を合わせ、赤十字活動を力強くサポートしていきたいと考えています。

皆様には、なお一層のご支援とご協力をお願いいたします。



有功会結成当時の日本赤十字社埼玉県支部の社屋(昭和57年6月 嵐山町に移築保存)

●発行者 日本赤十字社埼玉県有功会(埼玉県支部振興課内)

〒330-0064 さいたま市浦和区岸町3-17-1 TEL:048-789-7117 FAX:048-834-1520

日本赤十字社埼玉県有功会結成50周年に寄せて



日本赤十字社
埼玉県支部長
大野 元裕

日本赤十字社埼玉県有功会が結成50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

また、利根忠博会長をはじめ会員の皆様には、赤十字の最大の支援者として、日頃格別なお力添えを賜り、誠にありがとうございます。

昨年、日本赤十字社埼玉県支部は創立135周年を迎えました。災害時の被災者の救護をはじめ救急法の普及、ボランティアや青少年の育成、国際支援など様々な活動を長きにわたり継続してこられたのも、有功会の半世紀に及ぶ力強い御支援のおかげであり、改めてお礼申し上げます。

今、時代は大きな転換点に差し掛かっています。人口減少や人口構造の変化、地域における担い手の不足、気候変動により激甚化・頻発化する自然災害、そしてコロナウィルスとの闘いなど、赤十字としても取り組むべき課題は更に広がりを見えています。

特に、国内での感染者発生から3年を経過した新型コロナウイルス感染症については、5月8日に感染症法上の分類が5類に移行することが決定し、ウィズコロナからポストコロナへソフトランディングさせていくこれからが本当の正念場となります。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に最優先で取り組み、県民の暮らしの安心・安全の確保に尽力してまいります。

有功会の皆様からお寄せいただいている期待と信頼をしっかりと受け止め、これからも県内の赤十字施設とワンチームになって「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という赤十字の使命を果たしてまいります。皆様には50周年の記念すべき節目を機に、なお一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、埼玉県有功会の限りない発展と、会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

有功会が結成された昭和40年代後半から昭和50年代前半の支部活動の様子



昭和48年2月
家庭看護法講習



昭和49年7月
青少年赤十字活動
(長瀬青年の家)



昭和49年8月
防災総合訓練



昭和49年9月
地域奉仕団活動



昭和49年11月
救急法講習



昭和50年11月
救急法講習



昭和52年4月
青年奉仕団活動
(お祭りでの迷子相談)



昭和52年6月
災害救助訓練

有功会50年のあゆみ

昭和の時代

◇有功会の誕生

各都道府県支部に日赤紺綬会、日赤篤志会の結成が進む中、当時、有功章受章者が260人を超える埼玉県でも有功会発足の機運が高まりました。

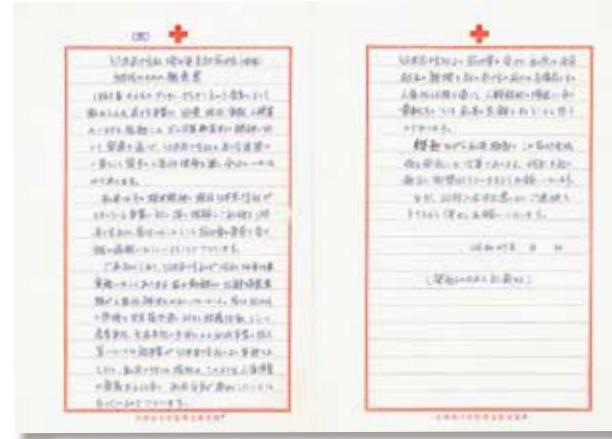
昭和47年1月8日の有功会発足準備会を経て同年2月16日に支部を会場に有功会発起人会を開催。有功会規約案や趣意書案、団体名称の合意を得て、結成総会の運びとなりました。

昭和47年5月25日、会員55人の出席のもと浦和市民会館で結成式を開催。来賓の東龍太郎社長と栗原浩支部長（知事）の祝辞の後、会則案や事業計画案、予算案などの審議とともに、長島恭助会長をはじめとする役員が選出され、埼玉県支部の後援組織「日本赤十字社埼玉県有功会」が誕生しました。

◇活動の拡大

昭和48年5月、埼玉銀行本店の大会議室で初めての総会を開催。

以降、新春のつどいや役員と会員による社会福祉施設への慰問、赤十字看護専門学校を卒業する学生への記念品贈呈、海外赤十字社親善訪問、災害義援金の拠出など活動の幅を徐々に広げていきました。



当時の設立趣意書の案文



昭和48年5月 初の総会



昭和50年11月 会員の施設慰問



昭和55年9月 中国視察
(北京 中国紅十字会前)

◇支会の結成

赤十字活動を支援する多くの仲間をつくらうという趣旨で会員5人以上の市町村単位で支会結成を呼びかけ、昭和53年3月の所沢市支会を皮切りに、各地域で支会の結成が進みました。

◇寛仁親王妃殿下をお迎えした午餐会

昭和62年12月1日、支部創立100周年記念赤十字大会へのご臨席のために来県された名誉副総裁の寛仁親王妃殿下をお招きし、浦和市文化センターで午餐会を開催。関係者191人の参加のもとで和やかに行われました。



平成の時代

◇設立20周年大会

平成5年10月19日、設立20周年記念大会が会員139人の参加のもと、浦和東武ホテルで開催されました。



◇日赤紺綬・有功会会長協議会総会

平成9年10月30日から31日の二日間、日赤紺綬・有功会会長協議会総会をパレスホテル大宮で開催。第一部の総会では協議会の新役員の選出や収支決算の審議、第二部では渋沢栄一記念館の研究員の方から渋沢栄一についての講演が行われました。翌日は喜多院や菓子屋横丁など川越市内を巡り、全国から集まった有功会会長の皆様に埼玉県の魅力を伝える機会となりました。

◇秋篠宮妃殿下をお迎えした午餐会

平成29年10月25日、支部創立130周年記念赤十字大会へのご臨席のために来県された名誉副総裁の秋篠宮妃殿下をお招きし、浦和ロイヤルパインズホテルで午餐会を開催。関係者89人の参加のもとで和やかに行われました。



◇会報の創刊

会の活動をより身近に感じていただくため、平成18年4月に有功会会報を創刊しました。これまでに22号を発行しています。

令和の時代

◇終活セミナー

令和元年9月26日、埼玉県支部との共催で終活セミナーをさいたま市内で開催。埼玉県出身の落語家三遊亭楽生師匠を講師に招き、80人を超える参加者が「終活のいろは」を楽しく学びました。



◇講演会「渋沢栄一翁を語る」

令和2年12月10日、渋沢史料館（東京都北区）の井上館長を講師に招き、講演会「渋沢栄一翁を語る」を支部で開催しました。NHK大河ドラマで話題の渋沢翁の生涯や日赤との関係についてお話しいただきました。

◇有功会結成50周年記念総会

令和4年7月25日、大野支部長をお招きし、ホテルブリランテ武蔵野で有功会結成50周年記念総会が開催されました。

